

法人の森で巣箱掛け体験

【佐賀森林管理署】コカ・コーラプロダクツ（株）鳥栖工場社員の家族41人が、鳥栖市大石谷国有林の「コカ・コーラウエストジャパン（株）法人の森」で、



楽しく巣箱作りをする親子＝佐賀

歩道整備や巣箱作りを体験しました。NPO法人ビッググリーン野鳥の生態などの説明を受けた後、作成した巣箱を参加者全員が協力して掛けました。

クリーン作戦

【宮崎北部森林管理署】宮崎県が毎年取り組んでいる「クリーンアップ宮崎」に併せて、民間合同の海岸林一斉清掃を実施。旧延岡管林署時代から伝統的な行事で、地元の方々が普段から取り組みをされていることもあり、ゴミは年々減少傾向にあります。地元の高校生も多数参加する中、活動を終えた住民からは「昔よりきれいになったね。ゴミが少なかったね」という声から有る日本の四季がなくなってしまうのではという思いもあつたからです。



ゴミ拾いに汗する高校生＝宮崎北部

も聞かれました。今後もクリーン作戦を通じて地元住民との信頼関係を大切にしていきたいと思っています。

児童ら森林の大切さ学ぶ

【長崎森林管理署】長崎市立



紙芝居に聞き入る児童ら＝長崎

長浦小学校の児童90人、対馬市立豆酸小学校の児童45人を対象に、森林の大切さや働きについての「お届け講座」を行いました。志田森林官、江島森林官がそれぞれ講師となり実施。児童らは森林に関するクイズや紙芝

居に真剣なまなざしで聞き入っていました。今後も地域に親しまれる取り組みを進めていくこととしています。

【西都児湯森林管理署】産業および観光振興を目的に、「さいとふるさと産業まつり二〇〇九」が開かれました。当署も、職員手作りの木工品などの販売。古い林業用作業器具や昭和初期の山で働く人たちの作業風景などの写真を展示。また、管内の指定樹木のコウヤマキ・モミの「森の巨人たち百選」の紹介などを行い国有林のPRに取り組みました。西都原のコスモスが花を添え、有意義な産業まつりとなりました。



皆吉幸雄さん



私がモニターに応募した理由は、この狭い日本が温暖化になったら植物は育たなくなるし、昔

私の小さいころは家の軒先にはツララが下がり、山には多くの雪が降り積もって、木を植えて山を育てることを思い出します。政府は25%CO2を少なく致しますと発表をしました。これを達成するには、山に木を植えて、緑をふやすことが大切だと

木を植えて山を育てる

林管理局さんの取り組みは大変責任があるものだと思います。都城市にはドングリ1000年の森づくり活動という取り組み

すし、山を育てる森の空気の良い日本を作るためにも山を育てること、自然を大切に山に木を植える事は大切なことだと思います。

（宮崎県都城市在住）



木工品などを展示の当署コーナー＝西都児湯

ブナ、ミズナラの落葉広葉樹林を散策

11月8日、九州森林インストラクター会の企画で第4回九州森林倶楽部「紅葉の天然水の森・地蔵峠の散策」を実施。21人の参加者が熊本県西原村の南阿蘇外輪山のふもとに広がる法人の森「サントリー天然水の森阿蘇」を訪ねました。

当日は、晴天にも恵まれ11月にしては汗ばむぐらいの陽気となり、九州森林管理局をバスで出発。登山口からは、参加者を3組に分け、九州森林インストラクター会メンバーの案内で、標高1000級のブナ、ミズナラなどを中心に広がっている落葉広葉樹林の林内を植物観察し



落葉広葉樹の林内で自然を満喫する参加者ら

ながら地蔵峠を目指し出発しました。

参加者は、広葉樹林内のフカフカした落ち葉の上を踏みしめ水源かん養機能など森林の役割などの説明を受け林内を散策しました。登山道の途中では雄大な阿蘇の涅槃像を遠望することができました。

紅葉は、残念ながら時期が少し過ぎていましたが、地蔵峠では、風もない秋晴れの心地よい天候の中、ゆっくりと昼食をとり下山しました。

参加者からは、「少人数のグループでゆっくりと森林浴を楽しめた。森林インストラクターの方から詳しい説明を聞いたのが良かった」などの意見が寄せられ、今年最後の九州森林倶楽部を無事終了しました。

(担当II指導普及課)

小学生48人にお届け講座

【宮崎北部森林管理署】日向市立日知屋小学校5年生48人を対象に、森林環境教育を行いました。室内では、森林の役割やマツ枯れ病と対策、林業の現状と間伐の必要性などを学習した

後、木の名前当てクイズや、校庭にある樹木の名前や特徴を学習。日知屋小学校では、今回が初めての講座でしたが、校長先生からは「来年もよろしく」と言う言葉をいただきました。



樹木について学ぶ日知屋小児童＝宮崎北部

小学生33人が職場見学

【屋久島森林管理署】屋久島町立安房小学校2年生33人が当署を職場見学しました。これは小学校の社会学習の一環として、安房地区内の各職場や工場などを毎年見学して回るもので、当署も前年に続き受け入れたもの。児童らは、職員から屋久杉円盤や、庁舎に使われている木材などについて説明を受け、真剣に聞いていました。児童から「カブト虫やクワカク虫はどんな場所で見つかりますか」と子ども

らしい質問があるなど、微笑ましい一時を過ごせました。



屋久杉円盤前で説明を聞く児童＝屋久島

森林セラピーin猪八重

【宮崎南部森林管理署】日南市、北郷町森林セラピー推進協議会と連携し、森林セラピー基地に認定された猪八重溪谷で、



森林セラピーの癒し効果を体感＝宮崎南部

イベントを行いました。当日は約110人が参加し、五重の滝まで散策後、①カスラカゴづくり②森林ヨーガ③絵手紙の作成に分かれ癒しを体験。お昼はセラピー弁当とシシ汁の自然食を味わい、森林セラピーの癒し効果を感じた日となりました。

木材まつりPR

【鹿児島森林管理署】「第11回かごしま木材まつり」がウォーターフロントパークで開催。当署も、竹とんぼやドンケリの「トトロ」作り、松ぼっくりのクリスマスツリーや「モックン」を配布し、緑の募金を呼びかけました。丸太切りコーナーでは、切れた輪切りを大事に持ち帰るなど国有林コーナーは、多くの県民へPRできました。



初めて丸太切りしたヨ＝鹿児島

秋の全国火災予防運動

火災発生に備え初期消火など訓練

「消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子」の全国統一防火標語のもと、11月9日から15日までの1週間、秋季全国火災予防運動が行われました。

当局では、火災が発生しやすくなる時季を迎え、火災予防の意識を高めるため、11月13日に局庁舎構内で、消防訓練を行いました。

当日は熊本市中央消防署の方々に協力をいただき、火災発生時の通報や初期消火、避難誘導など本番さながらの訓練を実施



消火器で放水訓練を行う職員

高校生が就業体験学習
【長崎森林管理署】
県立諫早農業高校2年生3人を就業体験学習で受け入れました。生徒らは国有林野情勢や管内の説明を受けた後、治山事業実行個所や保育間伐（活用型）の搬出路作現場などを見学。また、収穫調査、境界巡検、保育間伐や

最後に自衛消防本部長の山元康則総務部長が「日ごろから職場・家庭においても火の取り扱いには十分注意し、もし火災が発生した場合は、本日の訓練を教訓に冷静に行動してください」とあいさつし、消防訓練を終了しました。
(担当：経理課)

職員は消火器を使った初期消火の訓練などを体験しました。消防署からは、初期消火をするときは逃げ道を確認しておくこと。避難誘導は全員が待避したことを確認してから防火扉を閉めることなどの指導をいただきました。

枝打ち作業などを体験しました。最終日は、意見交換を行い、生徒からは「今後の進路実現に向けて一層頑張ります」と心強い言葉をいただきました。



＝長崎

ミヤマキリシマ保護活動

【大分西部森林管理署】阿蘇



刈り出し作業に取り組む参加者＝大分西部

くじゅう国立公園の牧ノ戸峠一帯は、ミヤマキリシマなどの高山植物の群生地として知られています。しかし、ササなどに被圧され、開花量が減少。このため、平成19年度に刈り出し試験地を設定。刈り出し作業を環境省・九重の自然を守る会、九重・飯田高原観光協会、当署職員など、約40人の参加者で行いました。ミヤマキリシマの回復を願う刈り払いしました。

都市住民が森林・林業を体験

【宮崎北部森林管理署】向坂山周辺の国有林に、五ヶ瀬町及び五ヶ瀬川森林・林業活性化センターと当署が連携し、「都市住民を対象に森林・林業体験ツアー」を開きました。森林や林業に触れることの少ない都市住



説明に耳を傾ける体験ツアー参加者＝宮崎北部

民が、森林に触れることを目的に企画。43人が参加し、森林浴を楽しみ、林業の現状を見たりしました。参加者は、樹水や、紅葉に感激し、シカによる森林被害地に驚くなど、新たな知識を得た一日となりました。

海岸保安林を清掃

【大隅森林管理署】クリーン活動として、「くにの松原」で、清掃作業を行いました。当日は大崎町、大隅素材生産事業協同組合、当署巡視員や職員を含め36人が参加。林内のゴミやタイヤなど、軽トラック約五台分を回収しました。「くにの松原」は地域に親しまれた景勝地ですが、道路沿いは不法投棄が多く、今回は、不法投棄防止をアピールする良い機会となりました。



清掃活動に汗する参加の皆さん＝大隅

平成21年の九州国有林

「国民の森林」実現へ いろいろな事がありました

新生国有林がスタートして6年目となりましたが、「国民の森林」を目指して取り組んだ主な出来事を「広報九州」の中から振り返ってみました。

森林生態系保護地域の見直しに着手

西表島の森林生態系保護地域（沖縄県西表島）は、設定後20年近く経過し、保護林を取り巻く自然的・社会的諸環境に変化が生じていることから、学識経験者などからなる西表島森林生態系保護地域設定委員会を設置、1月22日～24日の3日間、石垣市健康保全センター（沖縄県石垣島）で西表島森林生態系保護地域設定委員会が開かれました。

沖縄北部国有林の取扱について最終答申

3月3日、第9回沖縄北部国有林の取り扱いに関する検討委員会が開かれ、北部訓練場から返還される国有林約3400畝の機能類型や返還後の取り扱いについての最終報告書が取りまとめられ、九州森林管理局長に答申されました。

熊本市で合同植樹祭

3月7日、熊本市の小萩国有林内で九州森林管理局・熊本森

林管理署・熊本県・熊本市共催による合同植樹祭が開かれました。250人が参加し、ヤマザクラなどの広葉樹1000本を植樹しました。植樹祭に併せ熊本市立西里小学校と同松尾西小

学校の児童らが「未来の地球環境への提言」と題し、緑に親しむ活動を報告しました。



「みどりの月間」緑化行事

「みどりの月間（4月15日～5月14日）」の4月19日、熊本城内の一角にある監物台樹木園

を無料開園し、募金活動や苗木の無料配布を行い、森林や緑の大切さをPRしました。

「木になる紙」記者発表

4月23日「国民が支える森林づくり運動」推進協議会は、グリーン購入法における新たな調達基準に基づいた間伐紙（コピー用紙）の供給を全国で初めて開始したことに伴い記者発表を行いました。



森林と緑のこどもスケッチ大会

「みどりの月間」の4月29日、熊本城内の一角にある監物台樹木園で「第5回監物台樹木園森林と緑のこどもスケッチ大会」を開き、52組の小学生や親子ら177人が参加しました。

友好交流協定を締結

5月23日、大分県日田市と屋久島町は津元頼光九州森林管理局長仲介のもと、三隈川水上ステーションで友好交流協定を締結しました。

科学委員会を開催

平成5年に世界遺産登録された屋久島の保護・管理について学識経験者らからなる科学委員会が設置され、科学的データに基づいた順応的管理に必要な助言を得る体制が整い、6月28日、第1回屋久島世界遺産地域科学委員会が開かれました。

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会総会

7月28日、「国民が支える森林づくり運動」推進協議会総会が開かれ、間伐材入り紙製品の森林所有者に還元していく仕組みが決定されました。

「森の塾」開講

8月24日、熊本市内の小学校教諭を対象に、学校での森林環境教育に活かしていただくことを目的に「森の塾」を開講し、10人の先生方が参加しました。

森林整備推進に向け協定締結

9月11日「九州地域における森林整備の推進に関する覚書」締結の調印式を行いました。また、我が国最大規模（3900畝）となる「五木地域森林整備推進協定」締結の調印式を併せて行いました。



沖局長が就任

10月1日付けで、前・津元頼光局長が林野庁森林整備部長へ転出し、後任に沖修司局長が就任しました。

雲仙市で全国育樹祭

10月4日、「未来へと夢をつないで 育てる緑」をテーマに、皇太子さまをお迎えし長崎県雲仙市国見町の「県立百花台公園」で第33回全国育樹祭が行われました。

鹿児島大学と協定締結

10月29日、林業を担う指導的な立場の人材の知識・技術レベルの向上を図ることを目的に、当局と鹿児島大学との間で「九州の林業再生のために必要な人材育成等に関する協定」の調印式を行いました。



調印後学長と握手する沖局長

森林の流域管理システム推進発表大会に着手

11月11日と12日の両日、当局大会議室において「森林の流域管理システム推進発表大会」が開かれ、九州・沖縄各県の林業関係者、局・署などの職員、熊本県・佐賀県の林業を学ぶ高校生など200人が参加しました。



自然を満喫した森林倶楽部参加者

(本紙1・2頁に掲載)

森林倶楽部を実施

「新緑とミヤマキリシマの久住高原を訪ねて」「希少野生動物の宝庫 奄美大島2泊3日の旅」「紅葉の天然水の森・地蔵峠の散策」を開催し、61人が参加しました。

実践・公開講座を実施

熊本市にある監物台樹木園で実践・公開講座「葉の構造を学ぶ」「森の公益的機能を知ろう(絵手紙)」「森を楽しむ(ラフト)」「草木染め」を開き、122人が参加しました。



11月30日付森林管理局長発令

治山課係員

古庄誠司(東北局宮城北部署駐在)

12月1日付林野庁長官発令

計画部付

宮島章(計画部企画官)

計画部企画官

山本博(熊本南部署次長)

熊本南部署次長

寺本勝(治山課長補佐)

林野庁経営課雇用改善係長

12月1日付森林管理局長発令

治山課長補佐

山部義臣(治山課)

沖縄署流域管理調整官

遠山勝(指導普及課・西表森林環境保全ふれあいセンター)

指導普及課保護林係長

茂野潤(宮崎北部署)

一線でご活躍頂いている森林官の現場の情報量が、最も重要であり財産であると思います。最後にありますが、実は私、入庁前から屋久島を数回訪問しているとともに、3年間も勤務していたのに、一体何をしていたんだろうと反省している今日この頃です。

(国有林野管理課長

川畑充郎)

治山課企画係長

中嶋紀光(治山課)

治山課国有林治山係長

古庄誠司(東北局駐在)

総務課付

池田勉(沖縄署)

大分西部署業務課長

迫畑啓逸(屋久島署)

屋久島署総務係長

中村正任(経理課)

沖縄署経理係長

木崎慎一(福岡署)

熊本署管理係長

松本知子(熊本署)

宮崎北部署管理係長

岩本浩三(宮崎北部署)

長崎署首席森林官

松永雄治(大分西部署)

福岡署森林官

蒲地勝也(長崎署)

長崎署森林官

山口辰郎(長崎署)

長崎署森林官

坂本久良(長崎署)

宮崎北部署森林官

穴山信二(宮崎北部署)

宮崎南部署

榎木野俊昭(長崎署)

経理課係員

城下ヒトミ(総務課)

経理課係員

松本一美(沖縄署)

販売課係員

藤原敬士(宮崎南部署)



新米刑事曰く「犯人の足取りが掴めません」、そこでベテラン刑事が「現場を洗い直せ、解決の糸口が必ずある」と諭す。このやりとり、私どもの職場に通じるものがあります。先日、出張で屋久島の奥岳地域を調査しました。当日は日ごろの素行の良さから雲一つ無い晴天に

現場確認のススメ

調査前はさまざまな問い合わせがあっても、だいたいこんな感じだろうとイメージしながらの対応でしたが、今では頭の中で現場がすぐに出てくる

れませんが、現場を確認して情報収集することが、我々森林・林業技術者の原点であり責務であると思います。特に、現場第

身近な植物で草木染に挑戦

10月25日、監物台樹木園において、第4回実践・公開講座「草木染め」を開きました。当日は36人が参加。講師に九州森林インストラクター会の廣瀬三重子さんを招き、身近にある植物を使った草木染めを行いました。

参加者は、各人が選んだエコバッグ、ストール、ハンカチの布に、輪ゴム、割り箸、大豆などを使って模様づくりの作業を行った後、ピワやセイタカアワダチソウなどの草木を使い4つのグループに分かれて染色を行いました。

最後に、外に準備したテント内



きれいに染まった作品を手に品評する皆さん

のロープに染めたばかりの作品を乾かすため掛け、参加者全員で品評会を行いました。身近にある植物で染めた作品は、樹木園の樹木とコラボして美術展の様でした。

(担当II指導普及課)

ミヤマキリシマを保護・復元

【大分森林管理署】「久住扇ヶ



まずは写真を見ていただきました。マルバニッケイの果実(しょう果)で、種子島で初観察した写真です。最初何だろうと思っただ。下部の輪状になっているのが褐色だったのでかじってみたらニッケイの味はしなかった。

図鑑で調べたら、普通果実の花床筒は杯状となり果実の基部を包むとなっているが、「ときに果皮の下部が環状に肥厚し虫えいとなる」と解説があり、まさに虫えいを抱えた果実であった。

日本固有種で海岸近くに生え

鼻」に、九重の自然を守る会、九重・飯田高原観光協会、環境省くじゅう自然保護官事務所、当署職員20人が参加し、ミヤマキリシマの保護ロープを100m設置しま

した。これはくじゅう地区に群生するミヤマキリシマが盗掘や踏み荒らしなどにより減少してきていることから、被害が著しい個所に立入規制を行い、ミヤマキリシマの復元を図るため行ったものです。今後とも関係係者らが連携しミヤマキリシマの保護・復元活動に努

②8 マルバニッケイ(クスノキ科)

常緑の海岸低木林を形成する。葉は先が丸く下部がくさび形の倒卵形となっており長さ3〜4cmの可愛い葉を付けている。葉をかじるとニッケイの匂いがする。葉の形から名前は付けられている。

クスノキ科特有の三行脈がはっきりと観察でき、裏面に凸出している。裏面は絹毛で覆われており白くなっている。しっかりと観察すると葉は対生であるが少しずれた互生もある。

樹木園の中央、西側にニッケイ、ヤブニッケイとともに樹高約1・5m、幅約1mの円柱樹

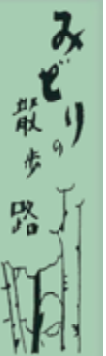


形のマルバニッケイを観察できます。

めるとなっています



保護ロープを設置する参加者=大分



12月1日付けで、沖縄森林管理署から局総務課勤務となり、広報を担当することになりました。よろしくお願ひします▼着任早々、今冬一番という寒波に歓迎された。沖縄では異動の準備をTシャツ姿でやっていたので、いきなりの寒暖の差10度超は身体に忍えた。しかし、これからはこの環境に、ながく付き合っていく行かなければならぬ事だと思ひ、気合を入れて頑張っていく▼久しぶりの局勤務である、たしか16年ぶり?今回は、初めて経験する広報の仕事である。右も左もわからない状況であるが1日も早く局の雰囲気と仕事の流れを覚えなければと思ひつつも、この歳になると最新の情報システム機器に身体と頭がついていかない状況であるが、頑張っていく▼マイホームを建築以来初めての、我が家からの通勤となり、長かった単身赴任生活がやっと卒業出来るようになった。各署の皆さんよろしくお願ひします▼師走を迎え寒さも一段と厳しくなりましたが健康第一に良い年をお迎え下さい。広報活動もよろしく。(ベン)